別紙様式

意見交換会実施報告書

平成２８年　７月２９日

登米市議会議長　沼倉　利光　　様

第３班　　代表者　及川　長太郎

１．意見交換会の概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td>平成２８年　７月１４日（木）　午後　７時００分　～　８時５０分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>迫町：迫公民館（大会議室）</td></tr>
<tr><td colspan="2">出席議員</td><td>代表者：及川長太郎
司会者：關　孝
報告者：熊谷憲雄　佐藤恵喜　氏家英人
記録者：佐々木幸一・日下俊</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加市民数</td><td>１４人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>議会報告</td><td>・議会活動報告について
・財政状況について
・28 年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて
・常任委員会からの報告</td></tr>
<tr><td>意見交換</td><td>『登米市の魅力　再発見
　～シティプロモーションについて考える～』
・参加者は 14 人。市庁舎建設問題や市民病院等の運営について幅広い質疑がされ、工業団地の造成場所についての意見も出されました。</td></tr>
</table>

２．市民の質問・意見等

会場で回答したもの	質　問	（議会運営、議員） ・経費削減のため　タブレット端末を使用するのは大変良いことだが、セキュリティはどのようにしていくのか。 ⇒個人ごとにパスワードを持つなどする。 （公共施設、跡地利用） ・旧米山高校跡地はどのように活用するのか。費用対効果はあるか。 ⇒三幸学園という通信制の学校に貸与する。全国展開をしている学校で、29 年 4 月に開校する予定。今後正式契約する。 （庁舎建設） ・庁舎建設の問題はいつまで議論し、結論はいつに。 ⇒特別委員会で、現在議論中である。 （意見交換会） ・意見交換会が、コミュニティ単位から町域単位になったのは何故か。 ⇒ある程度人数がいた方が、活発な議論となるため。 （病院） ・病院の累積赤字が 100 億円を遥かに超えている。責任は誰にあるのか。 ⇒市長、議会ともある。黒字転換を目指し様々な努力をしていく。
	意　見	
	要　望	（その他） ・登米市には多くの山林がある。この活用をすべきではないか。 ⇒４割以上が山林である。他市の活用例を調べ、政策に生かしたい。
	提　言	
	（　　）	
会場で回答していないもの	質　問	（財政） ・病院事業と下水道事業は、毎年数億の一般財源を投入しているが、改善の見込みと今後の改善策は。市長の責任ではないか。 （放射能汚染） ・汚染稲わらの問題はどのようになったのか報告がない。
	意　見	（シティプロモーション） ・シティプロモーションを進めるには、他地域との交流人口を増やすのが一番の政策ではないか。 ・シティプロモーションはあまりなじみがない。市に問い合わせるとホームページを見て下さいと言われたが、見る手段がない人には理解できない。 （議会運営、議員） ・タブレット端末利用もいいが、全員の議員が活用できるのか。できない人はどうするのか。

	要　望	（コミュニティ、集会施設、公民館） ・新田地区で開拓 70 周年記念碑を造りたい。90 万円ほどかかるが、市からの補助金などは活用できないか。 （公共施設、跡地利用） ・新田地区総合運動公園の中のトイレが古く、利用できない。改善してほしい。
	提　言	（シティプロモーション） ・シティプロモーションはどのような方法で行っていくのか。栗原市では１億円を使い、マスコミを利用し、観光客誘致に成功し、3～4 割の増客となっている。行政・議会・民間が三位一体となってすすめていくべきではないか。 ・登米市のシティプロモーションは、もっと山・川・自然を生かしたセールスをしていくべきではないか。
	（　　）	
その他 特記事項		